

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

2026.5.15

堺市立若松台学校
校長 増田 裕一

中学校区におけるめざす子ども像
「自己を高めようと努力し、自ら学び続ける子」の育成 ~教科教育・総合的な学習の時間の中で「探究」と「対話」する活動を通して~

令和8年度 重点目標
急激に変化する時代を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育み、子どもたちの可能性を引き出すため、これからの堺の学びとして、「令和の日本型学校教育」である多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実を目指す。【学校組織としての重点目標】①学校が子どもたちにとって、安心安全な場所であることを基盤に、学校教育目標の実現を目指す。②「学びのコンパス」を意識した授業を進め、総合的な学力の向上を目指す。③生徒・保護者・教職員が、それぞれの立場で生徒の成長を感じることができる学校を目指す。④教職員のやりがいとワークライフバランスに配慮し、チームとして機能する職員体制を構築する。

「確かな学び」の現状
令和7年度、前年度に引き続き落ち着いた態度で授業に臨む姿勢が見られた。教員は、生徒が自ら学びを進める姿を想像し、なぜ学ぶのか、何を学ぶのか、どのように学ぶのかを生徒自身が考えられるように、生徒が自分に合った学習材や学習方法、学習時間などを選択できるよう配慮している。また、少人数授業においては、生徒の学習状況に応じて効果的に実施することで、個に応じたきめ細やかな指導に取り組んでいる。令和8年度も引き続き、生徒の落ち着いた授業態度を持続するとともに、「学びのコンパス」に則した教職員の授業力の向上と ICT の有効活用により総合的な学力の向上を図る。

「豊かな心・健やかな体」の現状
「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」、「人の気持ちかわかる人間になりたい」、「人の役に立つ人間になりたい」、「学校のルールを守って、責任ある行動をとっている」という肯定回答はいずれも全校生徒の大半に達している。加えて、学年が上がるにつれ、その場の状況を判断できるようになり、上級生としての意識の高まりが見られた。今後は、体育の授業並びに体育的行事やガイドラインに則った適切な部活動の意識を高め、心身ともに健康な生徒の育成に努める。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (~11月)	達成状況 (年度末)			
								自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	教科力向上	わかる授業づくり	●堺市「学びのコンパス」について研修を進め、それに基づく授業づくりに取り組む。	学校アンケートの プラス(肯定)評価 75%以上...A評価(4・5) 75~30%...B評価(3・2) 30%以下...C評価(1)	教職員用学校 アンケート 生徒用学校 アンケート	年度末					
			●タブレット端末の活用をはじめ、それぞれの授業において、教材や教え方を工夫する。							C B T 調査	年度末
	学びの基礎力向上	主体的に学びに向かう力の育成	●学びを自分ごととして捉え、自ら学びを進める力を育む。	研修の進捗状況	教職員用学校 アンケート	年度末					
			●主体的、対話的で深い学びにつながる授業として、問題解決的学習やグループ活動に取り組む。							年度末	
豊かな心・健やかな体	学びの場づくり	自己肯定感の向上および将来設計と向上心の育成	●挨拶や返事などの基本的な生活習慣を励行する。	学校アンケートの プラス(肯定)評価 75%以上...A評価(4・5) 75~30%...B評価(3・2) 30%以下...C評価(1)	生徒用学校 アンケート	年度末					
			・委員会活動等を中心に生徒が活躍できる場を増やす。							年度末	
	豊かな人権感覚と道徳性の育成	いじめのない明るく元気な仲間の良い人間関係の育成	●生徒理解、生徒間交流の見守りとお互いの人間関係育成を目的に、教員と生徒との接点を増やし、いじめのない明るい学校づくりに取り組む。	C B T 調査	年度末						
			・道徳教育を着実に積み重ね、命の大切さや人権の大切さ、社会のルールについて学ぶ機会を作る。							年度末	
独自の取組	地域・家庭への適切な情報発信	学校運営や教育活動が保護者や地域に見える「開かれた学校」「信頼される学校」づくりの推進	●学校WEBページの更新、通信類の発行、メール発信を通して、学校の情報を保護者・地域に伝達する。 ・授業参観、体育大会、文化活動発表会、オープンスクール、教育講演会、PTA活動など、保護者や地域の方が来校する機会を設け、開かれた学校にする。	学校アンケートの プラス(肯定)評価 75%以上...A評価(4・5) 75~30%...B評価(3・2) 30%以下...C評価(1)	生徒用学校 アンケート C B T 調査 保護者用学校 アンケート	年度末 年度末					

校長より (年度末)